

「オスプレイ配備計画について」 立川市西砂町で地域懇談会開く

「行政は何も 教えてくれない」

教えてくれない

立川市西砂町は横田基地に隣接する住宅密集地です。「横田基地問題を考える会」と「立川平和委員会」は共同で今年6月、この地域を対象に基地問題での住民アンケートを実施

し、120人から回答をもらいました。9月にはアンケートの結果を地域に配布しました。CV2オスプレイの横田基地配備に関する環境審査報告書が公表された後の11月14日、西砂町で横田基地問題での初めて地域懇談会を開きました。

同2団体が呼びかけました。事前に2,000枚のビラを配布し、懇談会を知らせました。当日はあいくの雨模様でしたが、10人以上が集まりました。懇談会では初めに、横田基地問題を考える会の岩田事務局長と東京平和委員会の岸本事務局長がオスプレイ配備計画と横田基地の現状などについて報告しました。参加者からは、「自治会の役員をしているが、行

政はオスプレイ配備に関して何も教えてくれないので不安だ」、「最近はいろいろ飛行機が横田基地に飛来している。夜遅くまで飛行訓練をしたり、夜明け前から飛行機のエンジン音の音がしてうるさい」、「基地内で見慣れない工事をしている」、「安保法が通ってしまい、これから先横田がどうなるか心配だ」、「地位協定の改定が必要ではないか」、「中国や北朝鮮の脅威にどう対処するのか」などの意見、感想、疑問などが出されました。

後日、西砂町で戦争法廃止を求める署名行動をしていたところ、当日は発言しなかった女性に会い、「友人をさそい懇談会に参加したが、いろいろ教えられた。こうした集いを今後もやって欲しい。その時はもっと多くの人を連れていくよ」と言われました。また「先日の集

会に行けなかったが、どうだった？」と数人から聞かれました。
11月21日には福生市で、「オスプレイ配備を撤回せよ」の5000人集会が開催され「オー東京」の闘いが始まりました。今後は、オスプレイ配備や基地機能強化の問題で自治体といっしょになった地域ぐるみの活動をどう構築するかが課題です。そのためにも基地周辺地域での草の根の活動を強めていくことが必要だと思えます。

(西砂町・後藤太刀味)

横田基地問題を考える会

ニュース No. 26

連絡先

電話&FAX 0428-22-6273

ホームページ アドレス

Yokota-peace.sunnyday.jp



地元の西砂会館

駅頭宣伝にご参加ください
1月11日(月・祝)
13:30~14:30
立川駅北口デッキ
ティッシュとチラシ配布
宣伝・署名

オスプレイ横田配備と横田基地の変貌

12月5日

学習講演会

講師 小泉 親司さん
参加者60名



「戦争法と米軍基地強化」「横田基地の変貌の現段階」「戦争法もオスプレイもいらない・世論と運動を」のテーマで講演、休憩をはさんで質疑応答を行いました。

講演では、現在の戦争は国と国が行っているのではなく、一部の武装勢力との争いだけである。欧州のテロ行為に軍事力で対抗することは全世界にテロが広がる懸念がある。アメリカは一部に武装勢力に対し特殊作戦部隊を送り込んでいる。

戦争法を強行成立させた日本は、すでにイラク・アフガン戦争の時、ジブチに自衛隊基地を建設し常駐化している。他国に「軍隊」を派遣し基地を設営することは他国を脅かすことになるので「安保条約」を結ぶ必要があり日本はアメリカだけでなく「クエート」「ジブチ」とも結んでいる。

また、今までは、保持していなかった攻撃型武器

(MVオスプレイ・水陸両用車・無人機グローバルホーク・強襲揚陸艦など)を次々と購入を決めている。

「なぜ横田基地なのか」

在日米軍基地のシンボルである横田基地へCV-22オスプレイ配備とこれに伴う特殊部隊を置くことが5月に突然提示された。これで横田は攻撃基地としての役割を担うことになり政治的なインパクトを与えている。

ゲリラやテロリストを攻撃するために地上部隊のみならず、特殊部隊は少人数(30~40人)でパラシュートで降下しCIAと一緒に行動・拉致する。CV-22オスプレイと特殊部隊はセットであり、墜落の危険が伴うだけでなく“拉致”などを公然と行う部隊でありアメリカは重要視している。これを公式に受け入れている国はない。公

式に受け入れることは恥ずべき行為である。

「横田基地は訓練基地としての機能が強化」

航空法での市街地上空の飛行は高度300m以上(安全地域は150m以上)であるが、CV-22オスプレイの飛行訓練では高度60mが義務付けられていて、これを横田エリアで訓練する。

さらに、横田ではなんの協定もなくパラシュート訓練を行っている。

パラシュート訓練は沖縄読谷で過去に実施していたが、住民と自治体の反対運動により日米協定変更を勝ち取り沖縄本島での訓練はやっていない。

オスプレイやF-35の整備基地としての機能も持たせる。整備工場はアメリカ本土にあったが、現地との往復による経費削減から地域に分担させることを進めている。また地域では部品を提供で



学習講演会での質疑応答

きるもので、日本ではIHが部品提供を行う。

本土の沖縄化が進んでいる。沖縄の基地は訓練用としてさらに強化される。

国内のNHKによる世論調査でも平和についてなすべきことは武力に寄らない外交が必要と言っている。またアジアの地域フォーラムでも恒久平和・友好・協力による結びつきが出来てきている。



いのち脅かすオスプレイは東京・横田に来るな! 11・21集会

「STOP! 戦争する国」いのち脅かすオスプレイは東京・横田に来るな! 11・21集会

福生市の公園で、5,000名を超える参加者でおこなわれました。主催はオスプレイ反対東京連絡会。

共産党の小池晃参議院議員は「自衛隊が米軍とともに、海外で戦争する拠点

として、横田基地が強化されている。CV22オスプレイは米軍の先制攻撃を担っている」と告発しました。

集会決議を採択した後、横田基地脇の16号線を「オスプレイは来るな!」「横田基地を返せ!」「平和がいちばん!」とコールしながら元気にパレードしました。

「戦争する国」を許さない!すべての基地撤去!オスプレイの横田配備に反対する10・25東京集会

主催は、東京平和運動センターと三多摩平和運動センター、例年は10・21反戦デーですが、今年はオスプレイ反対のため、日曜日の昼にし、関東近県にも呼びかけて、2,300名の参加で開催しました。第9次横田基地公害訴訟原告団の福本団長はオスプレイの危険性と横田基地の現



オスプレイの横田配備に反対する10・25東京集会

状を訴え日本政府の姿勢を批判しました。

集会後、横田基地西側の国道16号線を通って福生駅まで元気にデモ行進しました。

わたしたちに基地も戦争もいらぬ!砂川闘争60周年のつどい

主催は実行委員会で1,500名が参加しました。午後には砂川・横田・沖縄に関する展示と映画「流血の記録・砂川」と沖縄の闘いのDVDの上映が行われ、



わたしたちに基地も戦争もいらぬ!砂川闘争60周年のつどい

夜の集会では120名の合唱団で組曲「砂川」が歌われました。

衆議院議員の照屋寛徳さんが、沖縄からの訴えをしましたが、沖縄の県民は先の戦争体験

から、戦争につながる動きを決して許さないと深い感銘を与える報告をされました。

「砂川の大地から、とだけ平和の声」砂川闘争60周年現地集会

現地集会は砂川学習館と広場で行われ、「砂川闘争の記録映画」鑑賞など「うどん」や「砂川鍋」もあるなどやかな集会で200名が参加しました。反対同盟・宮岡政雄氏(故人)の娘さんの福島京子さんが、沖縄での経験も含めて報告しました。また人形劇で当時の闘いを再現するという奇抜な催しでした。新宿にあるアメリカのレイクランド大学日本校の教授や学生も参加し発言しました。



「砂川の大地から、とだけ平和の声」砂川闘争60周年現地集会

***基地情報**

- 10/8 戦闘武器訓練実施 M-4カービン銃の発射訓練 (5.56ミリ弾使用)
- 10/25 イギリス空軍のエアバスA400Mが飛来 (同機種は 5/9スペインで墜落)
- 10/30 カリフォルニア州空軍 C-130J-30 2機、アラスカ州空軍 C-130 2機着陸
- 11/1 米国本土から飛来の4機離陸、横田C-130 4機離陸
- 11/1~2 22時~6時の間、米軍機7機離着陸 (日米合意違反) 三沢基地のF-16戦闘機2機、横田基地のC-12要人輸送機1機及びC-130輸送機4機
- 11/1~7まで韓国で実施している米韓合同演習【ビジラント・エース16】に関連しての飛来等「ビジライト・エース16」とは米韓が韓国で実施し1万6千人が参加する大規模演習。烏山(アサン)空軍基地を中心に夜間の戦闘機・攻撃機の訓練。その訓練に横田が組み込まれた
- 11/1~11/10(期間中の土日も実施)サムライ即応監査—韓国での合同演習ビジライト・エース支援
- 11/2~3 22時~6時の間 米軍機11機離着陸、横田基地のC-12要人輸送機1機及びC-130輸送機10機
- 11/3 米軍制服組トップ ダンフォード統合参謀本部議長訪問
- 11/3~4 22時~6時の間、米軍機4機離着陸 横田基地のC-130輸送機4機
- 11/8 5時台 米軍機9機離陸 アラスカ・カリフォルニア空軍機各1機、横田所属機7機
- 11/16~20 横田基地第36空輸飛行隊と沖縄・普天間の海兵隊による合同パラシュート降下訓練実施 400人予定 (16日5人、17日45人、18日14人、64名を確認)
- 11/23 オバマ大統領搭乗の大統領専用機エアースワン着陸(給油か?)真夜中の離着陸、横田基地は列車で燃料を受け取れる唯一の基地の為潤沢に燃料が備蓄されている

***基地外訓練**

- 10/13 第459空輸飛行中隊 UH-1N パイロットキャンプ富士
- 10/13 第459空輸飛行中隊 C-12 富士山
- 10/14 第36飛行中隊 C130H 日本の山岳飛行 伊豆半島上空・関東平野上空夜間飛行訓練

***自治体等**

- 福生市 市有地の「自由広場」を自衛隊宿舎に提供
- 11/10 夜間訓練に対する質問の回答—横田防衛事務所の聞き取り
「今回の横田基地における SRI(サムライ即応監査)においては、太平洋地域における演習ヴィジラント・エースを支援しており、ご照会のあった航空機もこれに関したものです。将来起こりうる人道支援や災害救援活動等の態勢を整えておくことは、米軍とその同盟国にとって大きな利点です。また頻繁ではありませんが、西太平洋の空輸ハブである横田基地は、給油を必要とする飛来機から緊急に支援を要請されることもあります。周辺自治体の不安や憂慮は理解しておりますので、航空機騒音の影響をできるだけ少なくするよう努力します。今件に関する周辺自治体の皆様のご理解とご支援に感謝する」以上

***オスプレイ関係**

- 10/9 MV-22 2機飛来し富士演習場へ「山岳地帯で低空飛行訓練」実施
- 5月 ハワイ MV-22 墜落事故原因「巻き上げた砂に含まれていたカルシウムやマグネシウムなど複数の鉱物がエンジンの燃焼室で溶け、タービン翼に固着した結果と分析(米・事故調査)
- 2010年4月 アフガニスタンでのCV-22 墜落事故についても同様の原因である可能性をコメント(米)